

講座番号	開講日	令和5(2023)年 9月19日(火)	定員	研修	講義	○
47	講座名	民間・地域に学ぶ仕事術③	30名	形態	実技	
	集合場所	道の駅おとふけ なつぞらのふる里	半日受講可		演習	
					協議	○

日程	講座内容	使用室名	担当講師
9:45 10:00	<p>○現地集合 「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」</p> <p>【開講式】</p> <p>主題：「GIGAで地域創生～ほっかいどう学のチャレンジ～」</p> <p>①講話A (45分間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどう学とは何か～北海道の子どもにもっと北海道を～ ・北海道の魅力とそれを支えるインフラの大切さ～みち学の取組～ ・地方創生に参画する学校！～本気で実現する「社会に開かれた教育課程」 ・NPOという仕事術～学校と社会をつなぐ～ <p>②意見交換A (15分間)</p> <p>休憩 (10分間)</p> <p>③講話B (45分間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール最前線～全国のGIGAスクールで何が行われているのか～ ・GIGAスクールと働き方改革～矛盾した仕事術に似てないか？ ・GIGAで地方創生とは～副読本のデジタル化どうする 	道の駅おとふけ なつぞらのふる里 (多目的ルーム) 音更町なつぞら 2番地 TEL (0155) 65-0822	新保 元康 氏 (NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長)
12:10	④意見交換B (15分間)		
	《昼食・休憩・道の駅視察 (各自)》		
13:30	<p>主題：「道の駅おとふけを核にした地方創生につながる教育課程を考える」</p> <p>①説明・視察 (70分間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」の概要と役割 ・「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」の推しを視察・紹介 <p>②休憩 (10分間)</p> <p>③授業アイデア作成と意見交換 (50分間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」を核にした授業アイデア作成 ・アイデアの発表と意見交換 <p>④振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>道の駅は、観光客にとっても住民にとってもなくてはならない公共施設の代表になっています。しかし、わたしたちはまだまだ道の駅の本物の役割魅力を知らないのではないのでしょうか。ここでは、「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」を実際に見学しながら、新しい授業の在り方を楽しく考えたいと思います。</p> </div>		わたしたち北海道人は大人も子どもも北海道のことを十分知っているいるでしょうか？「なんもないべさ」「寒いだけだべさ」とついつい自虐的に語ってしまう私たち。しかし、世界は熱い視線で北海道を見ています。「北海道の子どもにもっと北海道を！」このキャッチフレーズでNPOを立ち上げ5年。GIGAの力をフルに生かし、地方創生に貢献する仕事の在り方を模索してきました。みなさん、ざっくばらんに語り合いましょう。
16:00	○現地解散		午後からは、関係する外部講師を招聘する予定です。
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物、昼食は各自でご用意ください。(道の駅の飲食店は利用できます。) ・筆記用具 	留意事項	

第19期事業実施計画における研修内容				
○民間企業や地域の方の講話及び演習	<ul style="list-style-type: none"> ・職業観 ・組織マネジメント ・伝統芸能や文化 ・メンタルヘルス ・コーチング ・接遇やマナー など 	関連する指標	a 教職に必要な素養	○
			b 学習指導	○
			c 生徒指導	○
			d 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	
			e ICTや情報・教育データの利活用関連付け	